令和元年 9 月 9 日

保護者各位

鳥栖市立鳥栖北小学校
校長 一木 徹也

平成31年度(令和元年度)「全国学力・学習状況調査」結果の概要について(お知らせ)

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、本校の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査について

平成31年4月18日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

- (1) 教科に関する調査 国語 算数
- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について

※領域 A：話すこと・聞くこと B：書くこと C：読むこと D：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

○国語の平均正答率は、**全国平均正答率**を上回っていました。領域内容を分析すると、「C：読むこと」は正答率が高く、「D：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は正答率が低くなっていました。特に、調べたことを報告することを目的に文章として変換するところが難しかったようです。

(2) 算数について

※領域 A：数と計算 B：量と測定 C：図形 D：数量関係

○算数の平均正答率は、**全国平均正答率**をやや下回っていました。昨年度12月調査で課題としてあげていた「C：図形」についてはかなり改善してきました。減法と除法の両方が絡んだ文章問題、また、割合を活用する問題では正答率が低くなっていました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)

- ・基本的な生活習慣「朝食」については、大きく上回っていました。
- ・家庭学習については、全国と比べて、「計画的に学習している」割合は上回っているものの、「予習・復習」をしている割合が下回っており、課題が見られました。

- ・読書を好んでいる児童、また、新聞に目を通してしている児童については、全国と比べて上回っていました。
- ・電子黒板やデジタル教科書などICT機器の活用については大きく上回っていました。
- ・みんなで話し合っ解決、実践しているかについては下回っていました。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・児童の実態に応じて、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っていきます。
- ・電子黒板やデジタル教科書などICT機器の活用を継続し、より分かりやすい授業を目指します。
- ・自分の考えや意見、分かったことを自分の言葉（文章）で表現する活動を算数科の授業を中心に各教科に取り入れていきます。
- ・児童同士の関わりを大切にして、互いを認め合う場面を多く設定します。

5 ご家庭でお願いしたいこと

- 「家庭学習の手引き」をもとに学習する時間帯を決めてください。
- 「生活リズムアップ大作戦」を活用して、早寝・早起き・朝ご飯などの基本的な生活習慣を定着させてください。
- 頑張っていることや良くできたことをほめて、自尊心を高めるようにしてください。